

Press Release

報道関係者各位

2016年12月16日

株式会社横引シャッター

< 中小企業の取り組み >

社屋全体がおもてなし

立体駐車場に2種類のガレージシャッターを設置

愛車を見せたい派も見せたくない派もオーダーメイドシャッターの利便性を直接実感

オーダーメイドシャッターの設計、製造、施工業の株式会社横引シャッター(本社:東京都足立区、代表取締役社長:市川慎次郎)は、今年で創業30周年を迎えました。これを機に、ショールーム的な役割をする社屋として、さまざまな当社の製品を設置し、お客様に気軽に見ていただける環境を整えました。このたびお客様用の立体駐車場が完成し、ガレージ用電動型の横引シャッターを2種類取り付けました。これにより、車でご来社いただいたお客様はじめカーマニアのお客様に当社のオーダーメイドシャッターの利便性をじかに体感していただけるようになりました。



当社の立体駐車場のガレージシャッター2種類の開閉の様子。中が見えるタイプ(左)と中が見えないタイプ(右)

■愛車を見せなくても見せなくとも高性能の防犯性機能

完成した2種類のガレージシャッターはいずれも電動式で、車を保有しているお客様やカーマニアの方にオーダーメイドシャッターの利便性を実感していただきたく、中が見えるタイプと見えないタイプを設置しました。特に、電動開閉式は、雨の日も濡れずに車内からリモコンで操作が可能なおうえ、障害物感知センサーが標準装備されているため、安心してご使用いただけます。

当社の主力製品である横引き型のシャッターは、従来の上下式シャッターに比べ若干割高ですが、既製品では出来ない便利さと快適さが備わっています。通常、上下式シャッターの開け閉めは、腰や肩に負担がかかりますが、当社の製品は横に引くだけで軽く開閉が出来、新築のみならず後付けも可能です。そして、シャッターメーカー唯一の最大10年保証をつけ、アフターフォローも万全です。製品は顧客のオーダーごとに、それぞれの職人が手仕事で製作する1点もので、部品も全てメイドインジャパンなので、総合的に考えるとオーダーメイドシャッターはコストパフォーマンスが高い製品です。

■オーダーメイドだから可能な利便性。愛車を守る製品だから、より気軽に知っていただきたい

創業当時から大手シャッター業界で製造できない特殊シャッターの設計、製造、販売業を営んでいた当社は、1986年に上吊り式で横引きタイプのシャッターを開発しました。以来、防犯性、安全性を兼ねた特殊シャッターの

技術は、特別注文として防犯用に富裕層の別荘の電動雨戸や門扉、カーマニアのガレージとして需要がありました。しかし、富裕層向けの需要が多かったため、設置例としてお客様をお連れし紹介することが難しい課題がありました。また社屋の見本室と1階の工場に製品を設置しているものの、今一つお客様には設置した際のイメージが湧かないというご意見もありました。

今回、立体駐車場に2種類のガレージシャッターを設置することにより、お客様により身近にオーダーメイドシャッターの利便性を実感いただけるようになりました。

ショールームの役割を果たす社屋紹介

社屋にはお客様がわざわざ足を運んでよかったですと思っただけけるよう、オーダーメイドシャッター技術を取り入れた製品を設置し、既製品では出来ないオーダーメイドの利便性や、機能性などをより知っていただきたいと考えています。

■間仕切り(右)

普段会議室はオープンにしていますが、用途により中央の間仕切りで2部屋に分けています。この間仕切りは、片手で軽量なのでカラカラと開けられる横引き式シャッター技術を活かしています。社屋ではアルミ素材を活かしたのですが、室内の雰囲気を損なわず木目調にも、また好みの色を塗装しカラフルにも、いかようにもバリエーションが可能です。



■オフィス家具(中)

社屋のオフィス家具にもシャッター技術を活かした製品を取り付けています。名前も「プラシャッター」と、その名のごとく素材はプラスチック製で軽量なのが特長です。取り付けも引き戸タイプ、上下に引き上げるタイプと自由自在です。写真の左側のような木目調や、右側のような半透明など、オフィスの雰囲気を損なわず、雑多になりがちな資料や書類の目隠しにもなります。



■ロールスクリーン(下)



社屋に掲げられている「社是」と「社訓」はロールスクリーンにプリントしていますが、このロールスクリーンも当社の製品です。裏は物置になっており、ロールスクリーンの意外な使い道も併せて紹介しています。

その他、当社の社屋はお客様に楽しんでいただけるよう、また親近感や信頼感を持って頂けるよう、随所に遊び心を取り入れています。また、当社は従来の中小企業は暗く、汚い工場のイメージを払拭したいと様々な取り組みを行っています。今後も大手企業では出来ない、特長ある中小企業を目指し、社内社外問わず良いと感じたことは積極的に取り組んでいきます。

<本件に関するお問い合わせ先>

横引シャッター広報事務局 担当：新保（しんぼ）

TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788

携帯：080-9874-4858 メール：pr@real-ize.com

【会社概要】

会社名 :株式会社横引シャッター
代表 :代表取締役社長 市川慎次郎(いちかわしんじろう)
所在地 :東京都足立区綾瀬 6-31-5
ホームページ :<http://www.yokobiki-shutter.co.jp>
設立 :1986 年 4 月 3 日
従業員 :39 名(グループ全体・2015 年 4 月現在)
資本金 :1,000 万円
事業内容 :オーダーメイドシャッターの設計、製造、施工業

当社は、1986 年の創業以来、原発・火力発電所・造幣局等、特殊な用途の施設に、防犯性と製品の信頼性を高く評価されてきました。また、現在上吊り式シャッター関連の多数の特許を保有し、特殊シャッターの分野では先駆けの企業です。

この他にも、ショッピングモールの時間差店舗の管理シャッター、個人のガレージ、雨戸シャッター等、大規模な事業、個人宅関係なく、顧客ごとにオーダーメイドで製作しています。

自社のシャッターの修繕の経験、アイデアを形にする技術、金属加工に限らずシャッター技術に必要な部位製造も自社製品でまかっています。これらが可能なのは、高度経済成長期の日本を牽引してきた職人の技が集結しているからです。

■フェイスブック :横引シャッター facebook 公開中
100005657023160@facebook.com



■足立ブランド認定 :株式会社横引シャッターの製品は、東京都足立区が優れた製品・技術と認定した足立区ブランド認定製品です。



「足立ブランド」は、足立区が区内産業の優れた製品・技術を認定し、その素晴らしさを全国に PR し、ネットワークを広げていくことで区内産業のより一層の発展と足立区のイメージアップを図ることを目的に平成 19 年度から開始した事業です。認定製品・技術には「認定ロゴマーク」が付与され、販路拡大のための PR 支援などの事業を展開し全国へアピールしていきます。

■カニ部長 : 駅の売店でお馴染みの横に引くシャッターの専門メーカー「横引シャッター」。この横に動く動作がカニを連想させる事から、オリジナルキャラクター「カニ部長」が誕生。横引シャッターの親善大使としてキャラクター商品を展開中です。



LINE スタンプ、クリアファイル、缶バッジ、等